

ため池保全県民運動

ため池保全県民運動とは？

ため池は農業用水を供給するだけでなく、洪水の一時貯留、水生動植物の生息環境や親水空間の提供、美しい田園景観の形成などにも役立っています。地域に点在するため池は、農業を支えるだけでなく、多くの県民のみなさまに恵みをもたらしており、次世代に引き継ぐべき貴重な財産です。県では、「ため池の保全等に関する条例」に基づき、ため池や疏水の適正な管理と多面的機能の発揮の促進に向けた取組を、県民一人ひとりがそれぞれの立場で実践していくことを「ため池保全県民運動」として展開しています。

これまでのため池



水路や河川の許容量を超える大雨の場合、すぐ溢れる

ため池を治水活用すると



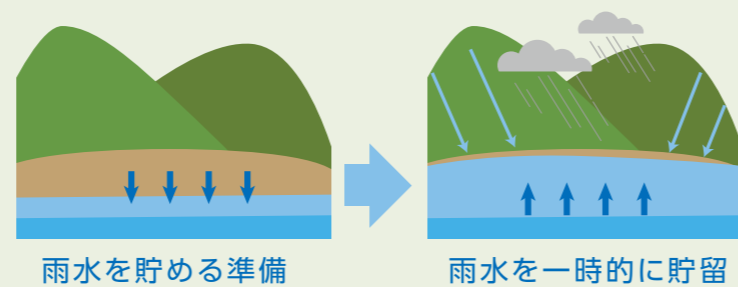
- ため池の決壊を防ぐ
- 水路や河川があふれにくくなる
- 洪水による農地災害等を少なくする

ため池を治水活用！

出水期（6～10月）にため池の水位を低下させて雨水貯留容量を確保！

（営農に支障のない範囲で）

治水活用のしくみ



2種類の方法で水位を調整

01
ため池栓の開閉



02
こうずいばき
洪水吐※1の切り欠き



ため池をまもる

農業用水の安定した供給や、堤防の決壊による災害を未然に防止するため、普段から適正な管理を行い、ため池をまもります。

ため池管理者講習会の開催

ため池管理者のみなさまの防災意識の向上と、適正な管理手法や管理体制の維持を図るため、毎年管理者講習会を開催しています。



ため池管理者講習会

サポートセンターによる点検

ため池管理者による適正な管理活動を支援するため、県と市町で「ため池保全サポートセンター」を開設し、巡回点検や相談・対応等を行っています。



専門技術者による点検・管理指導

ため池をいかす

ため池がもたらす様々な恵みを、ため池管理者と地域のみなさまの協働により、様々な方法で発揮促進し、ため池をいかします。

多面的機能の発揮

ため池では、水生動植物などの豊かな生態系の学習や、水辺空間の美しい景観を活かした地域コミュニティ交流の場として、様々な行事が催されています。



ため池ウォーキング

漁業者との協働活動

豊かな海の再生を求める漁業者とため池管理者や地域住民が協働し、近年「かいぼり」が復活したため池では、漁業者の積極的な参加が見られます。



漁業者との連携によるかいぼり

事前放流の取り組み

ため池への雨水の一時貯留や事前放流のための施設整備により、下流域の洪水被害を軽減します。



洪水吐（こうずいばき）※1の切り欠き

※1 洪水吐とは…ため池に入ってきた余分な水を安全に下流に流す施設のこと

ため池をつなぐ

ため池を貴重な地域資源として守り続けるため、それらに関する情報の収集や発信、人材の育成や組織づくりを進め、ため池を次世代につなぎます。

広報活動の推進

一人でも多くの県民のみなさまにため池保全活動を伝え参画を得るため、ホームページのほかFacebook、TwitterなどのSNSでも情報を発信しています。また、ため池保全推進フォーラムやNPO法人メダカのコタロー劇団による親子自然環境学校等の開催により啓発活動を展開しています。



メダカのコタロー劇団による啓発活動

次世代の子どもたちへ

次の世代を担う子どもたちに、ため池での環境学習や施設見学等を通じて、ため池の役割や歴史、維持管理の苦労や大切さを伝えていきます。



ため池の生き物学習